

科目名	経営学原理			
授業形態	講義	学年	1	
開講時期	2022年度 後期	単位数	2	
担当教員	堺 寛彦			
内容および計画	実際の事例に触れることを通じて、経営という活動に通底する共通のテーマとは何か？そこにはどのような変化が起きようとしているのか？について、知見を深めることを目指します。それぞれのテーマに対し、自分なりの考えをまとめること。そしてそれを他のメンバーにきちんと伝えられることを重視してゆきます。			
1	ガイダンス／メルカリ			
2	カゴメのファン株主拡大戦略			
3	フォードとGMの覇権交代			
4	マクドナルドとモスバーガーの戦略			
5	GEの企業革新			
6	コマツのビジネス・システム革新とIoT			
7	富士フィルムの企業変貌			
8	アップルのApp Storeの展開			
9	サムスン電子の統合と適応のジレンマ			
10	リクルートの起業家精神に基づく組織文化			
11	双日の人事管理			
12	トヨタの生産方式			
13	サントリーの新飲料開発／良品計画における危機と克服			
14	JR西日本の新幹線台車亀裂トラブル			
15	アスヘノキボウの協働まちづくり／まとめ			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	ケースに学ぶ経営学[第3版]	東北大学経営学グループ	有斐閣	4641184480 2019
その他、資料を適宜配布します。				
参考書	講義の中で適宜紹介します。			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	筆記試験			40
	発表・レポート			40
	出席状況			20
受講する皆さんとのコラボレーションを通じて講義を進めてゆくの、場合によっては内容を変更することもあります。				
学習到達目標	1.経営とはいかなる活動をさすのかを理解し、そこに共通する原理に対して、自分なりのまとめを行うこと。 2.経営を取り巻く今日的な問題点を提示でき、それによってこれまで原理・原則と考えられてきたことにと			

	<p>のような変化が起きつつあるのかについて、自分なりのまとめを行うこと。</p> <p>3.以上の二点について資料を作成し、わかりやすく発表できること。</p>
先修条件	なし
実務経験	実務経験あり：タウン誌の編集代表として活動後、行政書士ならびに ISO 認証取得サポート事務所を設立。住宅関連施工会社の顧問として経営企画などにも参画。
その他	登録のための条件（注意） 毎回講義内容に関連する事項に関するミニ・レポートの出題あり。各講義の受講前にテキストには必ず目を通しておくことを推奨します。